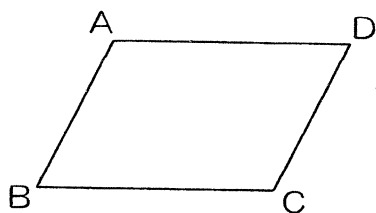


(定理7) 平行四辺形になるための条件

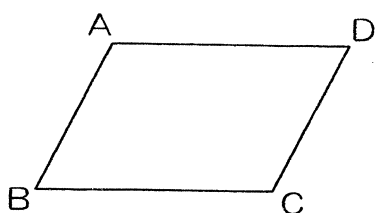
四角形 ABCD で、次のどれか1つが成り立てば $\square$ ABCD になる。

(1)

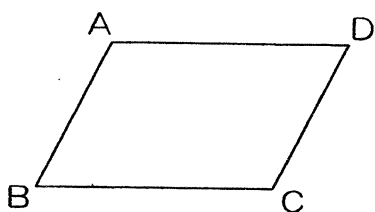


()

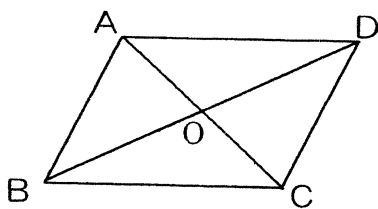
(2)



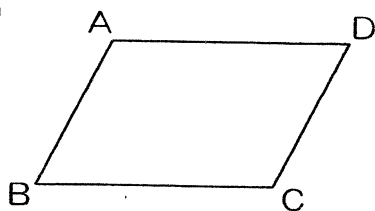
(3)



(4)



(5)



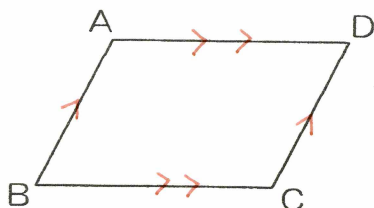
ならば



(定理7) 平行四辺形になるための条件

四角形 ABCD で、次のどれか 1 つが成り立てば $\square ABCD$ になる。

(1)



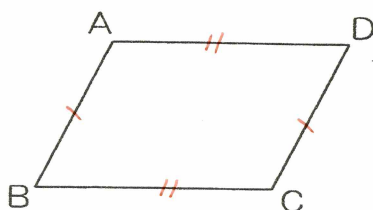
(定義)

$$AB \parallel DC$$

$$AD \parallel BC$$

2組の対辺がそれぞれ平行

(2)

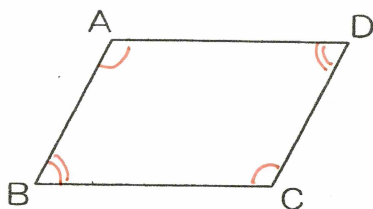


$$AB = DC$$

$$AD = BC$$

2組の対辺がそれぞれ等しい

(3)

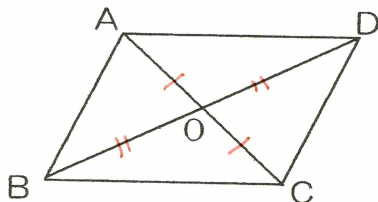


$$\angle A = \angle C$$

$$\angle B = \angle D$$

2組の対角がそれぞれ等しい

(4)

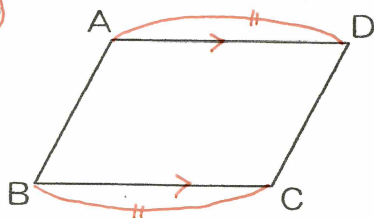


$$AO = CO$$

$$BO = DO$$

(2つの)対角線がそれぞれの中点で交わる

(5)



$$AD \parallel BC$$

$$AD = BC$$

1組の対辺が

平行で等しい

その長さが

ならば

$\square ABCD$